

No.	補助金交付団体	事業の内容 (要約)
1	善通寺こどもエコクラブ 代表 井上 修	・香川ESDまつり実行委員会を立ち上げ、30団体の参加と交流を目的に「四国ESDまつり」を開催する。(10月又は11月に1回開催)
2	Gomyo倶楽部 代表 大内 正伸	・豊かな自然環境の残された棚田で稲刈り(10月)や脱穀(11月)、土づくり(12月)などの体験を提供する。 ・昆虫、淡水魚等各分野の専門家を講師に招き、五名に生息する絶滅危惧種を含む生物観察会を開催する。(8月又は9月に1回)
3	わだもんエコロジー 代表 寒川 かおり	・オシャレでかわいいマスクとマイバックを手作りし、香川県の美しい風景の中で昔の暮らしを再現し、自然と共存する楽しさを紹介する動画(1~2分の動画16本)を作成。また、地元観光地や隠れた名所を撮影場所にしてエコ情報を紹介する。 ・作成した動画を英訳し、SNSで世界中に発信する。 ・国内の環境活動団体のホームページに作成した動画を掲載してもらう。
4	有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会 会長 杉村 勝司	・有明浜研究者の教授を招いて有明浜の海浜植物についての講演会を開催する(令和3年1月)。 ・有明浜のゴミ除去活動(年4回)。 ・定例会(毎月第2土曜日)として、現地で海浜植物の観察会と勉強会の実施。(親子観察会7月、市民観察会9月開催) ・ウンランの観察保護育成。 ・アサギマダラのホームページを開設、アサギマダラの写真展を開催(2回)。
5	栗林校区コミュニティ協議会 会長 高田 稔	・地域衛生組合による校区内清掃(5回程度) ・地域住民、校区内の児童及び生徒、協力団体に呼びかけ、栗林公園周辺において清掃活動(「おもてなしクリーン作戦」1回開催予定)。 ・一年を通して地下歩道に児童及び生徒、高齢者などのアート作品を掲示。 ・観光客へ環境美化意識向上の啓発グッズ(クリアファイル)等の配布。
6	特定非営利活動法人こにふあくらぶ 理事長 高橋 孝治	・一年を通して手入れがされていない民有林(2カ所)の間伐及び枝打ちを行う。 (1カ所は昨年度に間伐した材を搬出、残りの1カ所は新規に、間伐及び枝打ち作業を行う) ・間伐した材のうち建築材として利用できるものは製材所に持ち込み、その他大部分のものはボイラー燃料として無償で提供。
7	大野豆プロジェクト 会長 二川 幹生	・プロジェクトで生産する讃岐長莢空豆(大野豆)の地理的表示(GI)登録を行う。 ・GI登録効果を活用し、大野豆の栽培拡大を図る(県内生産希望者に開示・移転)。 ・規格外(小径)品の大野豆を粉砕、加工することにより廃棄物の減少を図るとともに、新規商品を展開する。 ・地域産豆を食材とした料理コンテスト開催を開催し、“地産地消”活動を啓発(令和3年2月)。 ・段ボールコンポスト方式による生ごみ堆肥を購入、使用。
8	香川大学学生ESDプロジェクト「SteeP」 代表 藤田 七虹	・県内の地球温暖化防止活動等を行っている団体や企業を募集し、丸亀町グリーン(高松市内)のけやき広場において、参加者に環境活動を体験してもらえるイベントを秋から冬頃に開催(ブース出展、体験型ゲーム、スタンプラリー、エコの木の作成、エコキャンドルの点灯)。ブース出展は、2つのテーマ「家庭でも負担なく実施できる環境活動」「香川県ならではの活動体験」をもとに行う。
9	公益財団法人オイスカ四国支部 会長 泉 雅文	・荒れている竹林で、間伐等を実施(夏以降3~4回実施予定)。 ・間伐した竹は粉砕して、地域の有機農家に提供。
10	うどんまるごと循環コンソーシアム 会長 角田 富雄	・食品ロスに係る講演会または勉強会の開催(1回、フードドライブも実施)。 ・ちよだ製作所プラント見学、フードドライブ、うどん手打ち体験、小麦種まき体験ができる「うどんまるごとエコツアー」の1回開催 ・小麦製粉体験やバイオマス生成実験など小学生等の一般市民を対象とした体験学習イベント(1回以上) ・学校への出前教室、親子向け出前講座(1回以上)

No.	補助金交付団体	事業の内容 (要約)
11	特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会 理事長 大西 佑二	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生、高校生、成人から「環境のこと」、「持続可能」についての意見(作文、論文)を募集。 ・紙芝居の作成 (「もったいないばあさんが来るよ」などの本を参考に) ・四国4県の過疎地域から発言者を集め、「環境のこと」、「持続可能のこと」についての学びあいのフォーラムを11月に開催。 ・炭焼き体験教室を令和3年1～2月に開催。
12	(一社)香川県産業廃棄物協会 会長 松本 英高	<ul style="list-style-type: none"> ・会員事業所周辺の清掃活動を12月に実施。 ・清掃活動と並行して、環境保全の重要性をアピールし、環境美化意識の向上を図るためのツール(ちらし入りティッシュ)を地域住民に配布する。
13	川西地区地域づくり推進協議会 会長 岩崎 正朔	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市川西地区南部「森の再生事業」(5年間)の一環として、器川沿いにあるニレの木5本の倒木措置を行う(6月～7月)。
14	寒川里山オーナー会 会長 高橋 正明	<ul style="list-style-type: none"> ・一般県民(児童や地域住民)を対象とした里山イベントの開催 6月:カブトムシの寝床づくり 12月:薪・竹炭づくり体験 2月下旬:きのこ植菌体験2回 ・年間を通して里山の案内 (毎週土曜日に里山再生や竹林整備活動) ・地域の草刈りに協力
15	香川の水辺を考える会 代表 吉田 一代	<ul style="list-style-type: none"> ・観音寺市有明浜で行っている学習会や観察会で配るリーフレットを作成する。 ・海浜植物や海岸ゴミ、外来種の繁茂の様子など、現在の有明浜が抱える問題を写したパネルを作成する。